

地域(住民)の参画にむけて

天塩川下流流域治水協議会

【R3年度～継続】

情報提供・広報

(流域治水に関する認知の促進)

地域住民の理解を得る

- 「流域治水」とは？
- 地域住民も流域関係者の一員
- 全員で水災害に立ち向かう
- 一人ひとりの取組、理解、協力が重要

- ・広報用資料の作成
- ・各機関で掲示
- ・HP掲載
- ・地域への配布

【R4年度～継続】

説明・意見の収集

(機会を捉えて地域への説明など)

意見等は流域自治体を通じて協議会共有

地域の協力、取組につなげる

- 関係者の一員として理解を深める
- 地域の意見をまとめて参考に
- 地域住民も協力、取り組めるように

- ・意見交換、意見収集
(訓練や説明会など)
(公聴会や座談会)
(出前講座)
(アンケートなど)
(補助等制度の紹介)

取組のサポート、充実

(取組の充実、拡大)

地域と一体で流域治水に取り組む

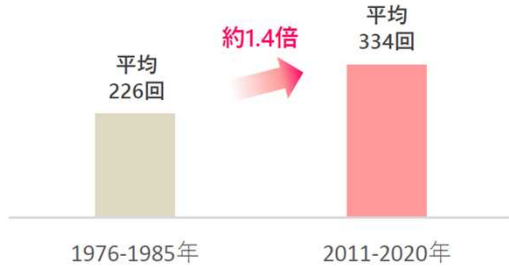
- 地域住民も一員として取組に協力

取組の呼びかけ、取組状況の共有、サポート、PDCA

近年の水災害（雨の降り方が変化、危険性が高まっています）

- 短時間強雨の発生頻度が直近30～40年間で約1.4倍に拡大。

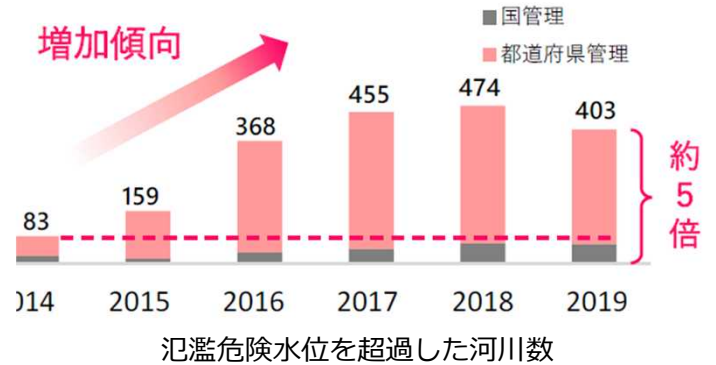
※令和元年東日本台風では、103もの地点で24時間降水量が観測史上1位の値を更新



※アメダス1,300地点あたり

短時間強雨（1時間降雨量50mm以上）の年間発生回数

※国土交通省HP「総力戦で挑む防災・減災プロジェクト」パンフレット 第2弾より



氾濫危険水位を超過した河川数

毎年のように全国各地で自然災害が頻発し、甚大な被害が発生

【令和元年東日本台風】



千曲川における浸水被害
(長野県長野市)

【令和2年7月豪雨】



球磨川における浸水被害
(熊本県人吉市)

【令和3年7月の大雨】



土砂災害の状況
(静岡県熱海市)

※国土交通省HP「総力戦で挑む防災・減災プロジェクト」パンフレット 第2弾より

気候変動の影響で降雨量は増加する可能性

「世界の平均気温上昇を産業革命以前と比べて2℃未満に抑える」というシナリオを対策の目標として設定

今世紀末には、洪水発生頻度が約2倍に増加する見込み

今世紀末時点での降雨量の変化倍率（2℃上昇）

全国（北海道を除く）	1.1
北海道	1.15

出典：「気候変動を踏まえた治水計画のあり方」提言 改訂版（令和3年4月）

※国土交通省HP「総力戦で挑む防災・減災プロジェクト」パンフレット 第2弾より 編集



※国土交通省HP「水辺の情報案内カワナビ」流域治水の推進 より

毎年、ひどい大雨が降り、大変な水災害が発生しています。それは、これからもっと激しくなる可能性もあります。では一体、**これからの水災害対策**はどうしていったらいいのでしょうか！？

答えは、**まち全体で、河川の流域全体で、みんなで水災害対策に取り組む**ことにあります。

流域のあらゆる関係者（行政・事業者・地域住民）が協働して水災害対策を行う：「流域治水」

流域治水 ～ 全員で取り組む水災害対策

(天塩川下流流域治水協議会 広報)

(R4年度: 継続)

「流域治水」とは、堤防整備などの対策をより一層加速するとともに、さらに集水域（雨水が河川に流入するエリア）から氾濫域（河川等の氾濫により浸水が想定されるエリア）にわたる流域に関わる全員で水災害対策を行う考え方です。

※国土交通省HP「みんなで始める防災・減災」パンフレット(住民の皆様向け)より編集

① 氾濫をできるだけ防ぐ

集水域

ためる、しみこませる チェック

雨水浸透ますの整備
ため池等の治水利用 等

河川区域

ためる
治水ダムの建設・再生
遊水地等の整備・治水ダムの活用 等

安全に流す
河床掘削等の整備

氾濫水を減らす
堤防の強化 等

② 被害対象を減少させる

氾濫域

よりリスクの低いエリアへ誘導 チェック

移転促進等

被害範囲を限定する
二線堤防の整備等

③ 被害軽減・早期復旧・復興

氾濫域

土地のリスク情報の充実
水災害リスク情報の空白地帯解消等

避難体制を強化する
河川水位等の長期予測の技術開発

経済被害の最小化 チェック

工場や建築物の浸水対策等

住まい方の工夫 チェック

不動産取引時の水災害リスク情報提供等

支援体制を充実する

氾濫水を早く排除する



チェック : 皆さん一人ひとりのご協力・行動が必要なポイントです。

雨水浸透ますの整備 チェック

雨水を地面へしみこませ、川に流れ込む時間を遅らせる設備です。各ご家庭にも設置できます。

ため池等の治水利用 チェック

あらかじめ、ため池の水位を下げておくことで、川に流れ込む水の量を減らすことができます。

チェック 治水に チェック 利用しよう!

一人ひとりの取組・理解・協力が重要です（地域のみなさまへ）

気候変動による水災害の激甚化に立ち向かうためには、堤防やダムなどの施設はもちろんのこと、皆さんの身近な施設・設備・土地が持つ防災機能を最大限引き出すことが必要不可欠です。

一人ひとりの取組・理解・協力が、同じ流域の方々を水災害から守ることにつながります。

地域のみなさまの参加によって、より実効性のある取り組みになっていきます。

私たちと一緒に水災害対策を進めていきましょう。



天塩川下流流域治水協議会

(順不同)

北海道開発局 留萌開発建設部
北海道 留萌振興局
北海道 宗谷総合振興局

天塩町役場
豊富町役場
幌延町役場

北海道森林管理局 留萌北部森林管理署
北海道森林管理局 宗谷森林管理署
旭川地方気象台
稚内地方気象台

2020年8月より協議会を設置して取り組んでいます！

（R4年度：継続）



留萌開発建設部 庁舎1階



「流域治水」に関する広報資料の作成、掲示

天塩川下流域治水協議会HPへリンク



「流域治水」について（リンク）

天塩川下流域治水協議会HP掲載

[流域治水とは？（留萌川流域治水 広報）（PDF:976KB）](#)

流域治水に関するパンフ、動画などの紹介（リンク）

- ▶ 流域治水について（出前講座）（新規ウィンドウで開く）
- ▶ 流域治水プロジェクト（国土交通省リンク）（新規ウィンドウで開く）
- ▶ 「総力戦で挑む防災・減災プロジェクト」パンフレット（国土交通省リンク）
- ▶ 「みんなで始める防災・減災」パンフレット（住民の皆様向け）（国土交通省リンク）（新規ウィンドウで開く）
- ▶ 「流域治水」の基本的な考え方（国土交通省リンク）（新規ウィンドウで開く）
- ▶ 「カワナビ」まち全体でみんなで水災害に備える（国土交通省リンク）（新規ウィンドウで開く）
- ▶ 「流域治水の推進 国土交通大臣メッセージ」（国土交通省リンク）※メッセージ同化：YouTube画面が開きます（新規ウィンドウで開く）
- ▶ 流域治水の推進（政府広報オンライン インターネットテレビ動画 リンク）（新規ウィンドウで開く）

【留萌開発建設部】

流域治水に関するチラシ（広報用資料）作成共有、掲示、掲載

【天塩町】

流域治水に関するチラシ（広報用資料）を庁舎内で掲示

【旭川地方気象台】

合同庁舎ロビーなどに流域全体で水害を軽減させるための気象情報に関する資料を掲示。

留萌振興局ホームページへの掲載



HOME > 建設管理部 > 留萌建設管理部 > 留萌振興局流域治水協議会

留萌振興局流域治水協議会

ページ内目次 流域治水プロジェクト ▾

流域治水プロジェクト

昨今の激甚化する水災害に加え、気候変動による降雨量増大に伴う水災害リスクに備えるため、河川管理者が主体となって行う治水対策に加え、あらゆる関係者により流域全体で水害を軽減させる「流域治水」へ転換し、河川対策、流域対策、ソフト対策からなる流域治水の全体像を「流域治水プロジェクト」としてとりまとめ、計画的に推進していきます。

一級水系流域治水プロジェクト

[留萌川流域治水協議会（国土交通省北海道開発局留萌開発建設部ウェブサイトへのリンク）](#)

[天塩川下流域治水協議会（国土交通省北海道開発局留萌開発建設部ウェブサイトへのリンク）](#)

二級水系流域治水プロジェクト

広報用の資料掲示（留萌振興局 庁内）



A4 両面1枚
(広報資料)

出前講座（要望にそって説明） ※留萌開発建設部治水課

（R4年度：継続）

「流域治水」について（リンク）

留萌開発建設部HP
（留萌川流域治水協議会）

📄 流域治水とは？（留萌川流域治水 広報）（PDF:976KB）

▶ 流域治水について（出前講座）（新規ウィンドウで開く）

▶ 流域治水プロジェクト（国土交通省リンク）（新規ウィンドウで開く）

▶ 「総力戦で挑む防災・減災プロジェクト」パンフレット（国土交通省リンク）

▶ 「みんなで始める防災・減災」パンフレット（住民の皆様向け）（国土交通省リンク）
（新規ウィンドウで開く）

▶ 「流域治水」の基本的な考え方（国土交通省リンク）（新規ウィンドウで開く）

▶ 「カワナビ」まち全体でみんなで水災害に備える（国土交通省リンク）（新規ウィンドウで開く）

▶ 「流域治水の推進 国土交通大臣メッセージ」（国土交通省リンク）※メッセージ同化：YouTube画面
が開きます（新規ウィンドウで開く）

▶ 流域治水の推進（政府広報オンライン インターネットテレビ動画 リンク）（新規ウィンドウで開く）

講座一覧

令和4年度実施分

📄 令和4年度出前講座一覧表（PDF:294KB）

- 公共事業に伴う用地補償について
- 留萌開発建設部の防災に係る取り組みについて
- 留萌開発建設部の管理する建設機械について
- 道路における電気設備について（令和4年4月追加）
- 防災を支える情報通信設備について（令和4年4月追加）
- 留萌川の河川整備について
- 天塩川（下流）の河川整備について
- マイタイムラインで水災害に備えよう
- 流域治水について
- 留萌川の水質環境について
- 天塩川（下流）の水質環境について
- 留萌ダム説明
- 管内道路事業の概要
- シーニックバイウェイ北海道について
- 冬の生活を支える道路の除雪、維持管理
- 一般国道232号高砂橋上部工事説明（令和4年4月追加）
- 道路の老朽化対策
- 港見学会
- 港と地域生活の関わり
- 留萌港と地域産業の関わり
- 農業農村整備事業の役割について
- 産土地区の見学会について
- 漁港の役割について

出前講座・総合学習

留萌開発建設部HP
（出前講座）

出前講座・総合学習

開発事業について「知りたいこと」「聞きたいこと」はありませんか？
留萌開発建設部では「講座」を出前いたします！



お申し込みから実施まで、1ヶ月ほどお時間を見てください。

■ 豊富町防災講話（10月5日実施）において、天塩川下流域治水プロジェクトの取組内容の説明を行い、聴講者からの意見収集を行った。

<目的>

「流域治水とは」を分かりやすく説明し、その取組内容を知ってもらい、「流域治水」や「プロジェクト」に対して地域にお住まいの方々から質問や意見を聞き取ることによって、住民理解の促進とプロジェクトへの意見の反映について、流域治水協議会で協議を行うことを目的とする。



天塩川下流域治水プロジェクトに関する アンケート調査のお願い

天塩川下流域治水協議会では、「天塩川下流域治水プロジェクト」の取組における基礎資料とするため、事業内容をお聞きになった皆さまに対して、アンケート調査へのご協力をお願いしております。
誠に恐れ入りますが、本アンケート調査の趣旨をご理解いただき、ご協力くださいますよう、よろしくお願ひ申し上げます。

- Q1. 天塩川下流域治水プロジェクトの取組で、一番印象に残ったことに、1つ〇をつけてください。
- () 氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策（河道掘削、砂防、農業、治山施設）
 - () 被害範囲を減少させるための対策（浸水リスク情報、ハザード情報の活用）
 - () 被害軽減、早期復旧・復興のための対策（流域タイムライン）
 - () グリーンインフラの取組（多自然川づくり、河川環境学習）
 - () 事業効果の見える化（水害リスクマップ）

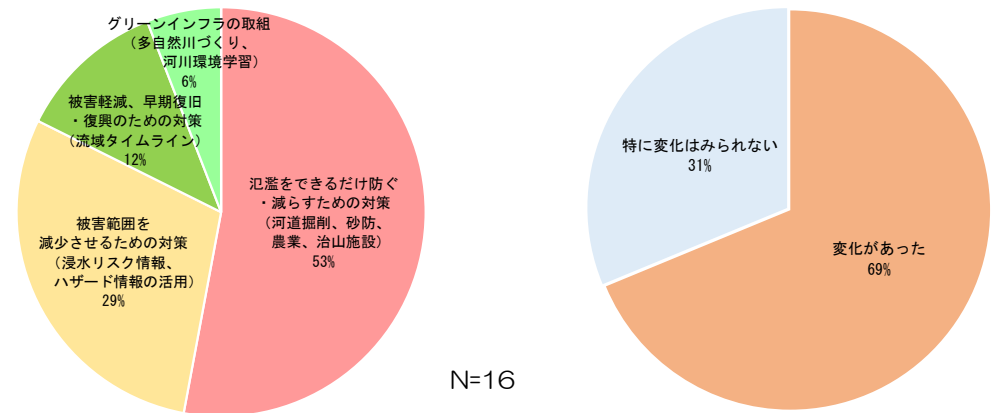
- Q2. 天塩川下流域治水プロジェクトの取組を聞いた後で、防災への意識に変化があったと思いますか？
- () 変化があった
 - () 特に変化はみられない

■「防災への意識に変化があった」と感じた場面がございましたらご記入ください。

Q3. 天塩川下流域治水プロジェクトの取組へのご意見があれば自由にご記入ください。

アンケートは以上です。ご協力ありがとうございました。

アンケート調査のとりまとめ結果



<地域にお住まいの方からの質問・意見>

- ・プロジェクトの必要性和取組がありがたい。
- ・大事な点が網羅され大いに参考になった。資料も豊富でゆっくり考えてみたい。
- ・人ごとだと思っていたが普段から防災に気をつける気持ちがついた。

(R4年度:新規)

- 留萌管内北海道地域防災マスターフォローアップ研修(12月19日書面開催)において、天塩川下流及び留萌川流域治水プロジェクトの取組内容の説明を行い、聴講者からの意見収集を行った。
- アンケート調査によるとりまとめ結果については、天塩川下流及び留萌川流域治水協議会の幹事会や協議会で共有を図る。

<北海道地域防災マスターとは>

国が平成18年4月に中央防災会議で決定した「災害被害を軽減する国民運動に関する基本方針」を受け、この取組を道民運動として展開していくために地域で防災活動のリーダーとなる方々を「北海道地域防災マスター」(以下、「マスター」という。)として育成し、地域防災活動を推進するために平成19年度から道独自の制度として実施。

<研修の概要>

留萌管内在住のマスター(令和4年12月現在:33人)、留萌管内市町村職員及び消防職員に対して、地域防災リーダーとしての役割等に係る講義及び最新の防災に関する取組に係る講義を通じ、その活動に必要な知識の更なる向上を図り、地域防災力の一層の向上に資することを目的として開催。

<実施方法>

研修DVDを送付し、映像の視聴により開催

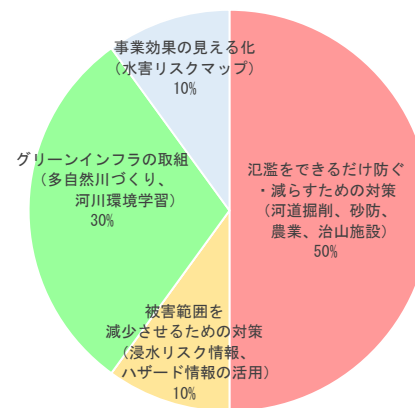
<研修内容>

- 1 地域防災力の向上について
講師 留萌振興局地域創生部地域政策課防災係長
- 2 災害から身を守るために役立つ気象情報
講師 旭川地方気象台予報官
- 3 北海道の地震と津波
講師 旭川地方気象台地震津波防災官
- 4 留萌川・天塩川下流における「流域治水プロジェクト」について
講師 留萌開発建設部治水課流域計画官

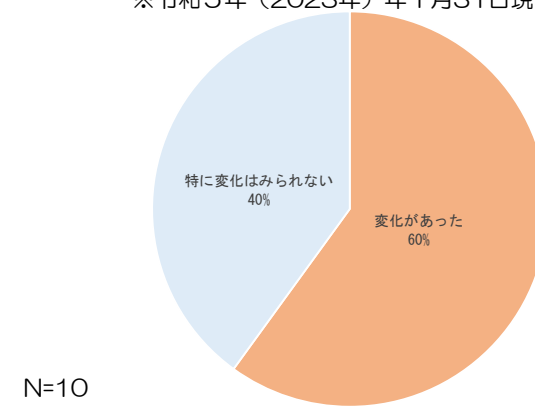


流域治水に関する取組に係るアンケート調査のとりまとめ結果

※令和5年(2023年)年1月31日現在



Q1. 取組内容で一番印象に残ったこと



Q2. 防災への意識に変化があったか

N=10

<マスターからの質問・意見>

- ・ 氾濫を防ぐための対策に多くの取組を実施していることや、グリーンインフラに取り組んでいることに感心した。
- ・ 治水の必要性が理解できた。
- ・ 現在進行形の流域治水プロジェクトについて振り返ることができた。